

建学の精神 EST. 1935 (昭和10年)

- ・キリスト教に基づく人格教育を行います。
- ・専門教科による職業教育を行い、有能な人材を育成します。
- ・自主独立の精神を養います。
- ・国際交流による国際理解教育を行います。

普通科

- 特進コース
- 普通コース
- 健康福祉コース
- 保育コース
- インターコース
- 一貫コース

看護科

- 看護科
- 看護専攻科

商業科

- 商業コース
- 美容専科コース
- 製菓衛生師コース

特進コース

勉強合宿

今年も、夏休み期間中の7月23日(水)～25日(金)に玄海青年の家で勉強合宿を行いました。各自が目標をたて、規則正しい生活の中で勉強に取り組みました。



四校競技大会

8月20日(水)、第89回四校競技大会が当番校である本校に於いて行われました。雨で中止が懸念されたテニスを含むバレーボール、バスケットボールの3種目が行われ熱戦を繰り広げていました。本競技大会は、第1回の西南女学院から始まり福岡女学院、本校、梅光学院のキリスト教教育同盟4校が年一回この時期に親睦を兼ねて行っている伝統ある競技大会です。結果は、下記の通りです。

校種	バレーボール	バスケットボール	テニス
中学	福岡女学院	福岡女学院	折尾愛真
高校	福岡女学院	折尾愛真	折尾愛真



第7回 スイーツ甲子園

8月1日(金)、第7回スイーツ甲子園九州沖縄ブロックが、天神イムズABC(Cooking Studio)にて行われました。全国556チームの中から地区の一次審査で選ばれた40チームが「私のおもてなし」のテーマのもと集まり、本校からは「愛真チビーズ☆」の3人が挑戦しました。惜しくも入賞は逃しましたが日本庭園をイメージしたスイーツは審査の先生にも高い評価を頂きました。



製菓衛生師コース



製パン実習

7月28日(月)～30日(水)、8月4日(月)～6日(水)の6日間、2年生の製パン実習がありました。講師に、武藤欣弥先生をお迎えして玄米食パン・ベーグル・菓子パンなど8種類のパン実習に臨みました。



募集定員(推薦・一般) 340名【普通科 150名／看護科・看護専攻科<五年一貫> 70名／商業科 120名】

推薦入試要項

学 科	コース	出願期間
普通科	特別進学 普通 健康福祉 保育 インターナショナル※ 中高一貫	平成27年 1月9日(金)～ 1月21日(水) 受付 午前9時～午後6時
	看護科・看護専攻科<五年一貫>	※日曜日・祝日は除きます。
商業科	商業 美容専科(女子) 製菓衛生師	※土曜日は午前9時～ 午後3時までとします。

※インターナショナルコースは外国人女子留学生のみ募集

試験日	試験科目(基礎学力)	合格発表
平成27年 1月27日(火)	国語・数学・面接 特進・看護のみ 国語・数学・英語・面接	平成27年 1月29日(木)

一般入試要項

学 科	コース	出願期間
普通科	特別進学 普通 健康福祉 保育 インターナショナル※ 中高一貫	平成27年 1月9日(金)～ 1月28日(水) 受付 午前9時～午後6時
	看護科・看護専攻科<五年一貫>	※日曜日・祝日は除きます。
商業科	商業 美容専科(女子) 製菓衛生師	※土曜日は午前9時～ 午後3時までとします。

※インターナショナルコースは外国人女子留学生のみ募集

試験日	試験科目	合格発表
平成27年 2月4日(水)	国語・数学・社会・理科・英語	平成27年 2月9日(月)

インターハイ結果

- 新体操 (国立代々木第1体育館)
団体 36位、個人 36位
- テニス (有明コロシアム)
男子 シングルス2回戦敗退
女子 ダブルス初戦敗退 シングルス初戦敗退

剣道部 玉竜旗 女子団体 ベスト8

第96回全国野球選手権大会(福岡大会) ベスト8

学校見学会のご案内

- ・学校紹介
- ・入試相談
- ・体験授業
- ・入試対策 他

第1回

7月12日
(土) 終了

第2回

9月20日
(土)

第3回

10月11日
(土)

第4回

11月15日
(土)

「草創期の黒田藩と栗山大善」 官兵衛の豊前入国①

黒田家の藩祖黒田官兵衛孝高は、秀吉が天正15年(1587)、島津討伐のために九州入りをした際は、軍奉行として活躍、秀吉の九州平定には多大の功績をあげます。島津討伐戦の終了後は、秀吉から論功行賞として、豊前国の京都・仲津・築城と豊後国の一部上毛・下毛・宇佐の各郡12万石を与えられ、中津を居城とします。中津在城13年で福岡に移封されることとなります。竹中半兵衛と並んで秀吉側近の戦国最高の軍師と云われ、幾多の戦いに多大の功績を挙げてきた官兵衛にとっては、極めて冷遇された恩賞でした。秀吉に恐れられたからだとも云います。事実、後年秀吉は『なぜ、官兵衛ほどの功労者に少禄しか与えなかったのですか』と聞かれ、『馬鹿者、あの男に高禄を与えたら、天下を取るワイ』と云ったと云います。島津討伐戦の終了後、箱崎で論功行賞を行います。

- ◆博多の町は秀吉の直轄地。
- ◆筑前国と筑後国の御原・御井の二郡三十三万六千石を小早川隆景に与えます。居城は名島。
- ◆筑後国の山門・三潁・三池の各郡、十三万二千石を立花宗茂に与えます。居城は柳川。
- ◆筑後国の生葉・竹野・山本の各郡十三万石を毛利秀包に与えます。居城は久留米。
- ◆豊前の企救・田川の二郡六万石を毛利勝信(秀吉の家臣)に与えます。居城は小倉。
- ◆小倉城主だった高橋元種は日向国延岡城主五万三千石に転封。
- ◆秋月城主秋月種実は三万石を与えられて日向国高鍋城主に転封。

以上の通りですが、官兵衛の働きからすればこの恩賞は誠に少禄と云わざるを得ません。官兵衛の働きの陰には、栗山備後利安、井上周防之房、母里太兵衛等三人の武将の働きを忘れてはなりません。特に、備後利安は善助とも云い、幼少時より官兵衛に仕え、陰となり、日向となって忠節を尽くした股肱の臣で、官兵衛は善助に絶大な信頼を寄せていました。

小田弘之著書「草創期の黒田藩と栗山大善」より